

第52期第2回常任幹事会 報告

日時：2022年5月19日(木)13：30～15：45

会場：東京労働会館5階会議室

出欠：吉田、稲葉、加藤(年)、白滝、千葉、阿久津、山根、相川、市橋、小形、岡本、

加藤(都)、加藤(教)、木崎、國米、佐久間、菅谷、田村、築館、中山、細見

前沢、森松、吉野、小川、窪田

11/26 (●出席、□リモート、__欠席)

議長：小川

オブ：坂本、高橋

会長挨拶

なし

1、報告

1、活動報告

- 3月24日(木)15：30～ 人権としての医療介護東京実行委員会事務局会議
18：30～ 中央社保協関東甲信越ブロック会議
25日(金)18：30～ 葛飾社保協第27回総会
28日(月)12：00～ 消費税廃止各界連絡会宣伝行動 大塚駅
13：45～ 同 事務局会議
13：30～ 東京高齢期運動連絡会2022年度総会
29日(火)13：30～ 都立広尾病院を守る会 建替え学習会
30日(水)18：30～ 中央社保協第9回代表者会議
- 4月06日(水)10：30～ 中央社保協第9回介護障害者部会
13：30～ 中央社保協第9回運営委員会
11日(月)10：30～ 人権としての医療介護東京実行委員会 都議懇談
13日(水)10：00～ 介護をよくする東京の会事務局会議
14日(木)12：00～ 4の日宣伝行動 巣鴨駅
13：30～ 民医連退職者会 都立病院独法化についてのミニ学習会
15日(金)18：00～ 外科医師えん罪事件 最高裁判決報告集会 北千住
16日(土)10：00～ 東京社保協第52回総会・学習会 けんせつプラザ東京
16：30～ 同 第1回常任幹事会
17日(日)13：00～ 介護保険を崩壊させない！集会 オンライン
18日(月)10：00～ 生協労連との懇談
20日(水)14：00～ マイナンバー制度反対連絡会学習会 全労連会館&ZOOM
22日(金)13：00～ インボイス制度は実施中止・廃止に！衆院第2議員会館&ZOOM
25日(月)12：00～ 75歳以上窓口負担2倍化反対大宣伝 新宿駅東口
12：00～ 消費税廃止各界連絡会宣伝行動 大塚駅
13：45～ 同 事務局会議

- 26日(火)14:00～ 東京高齢期運動連絡会幹事会
18:00～ いのちのとりで全国アクション会議 ZOOM
- 27日(水)13:30～ 生存権裁判を支える東京連絡会 第11回幹事会
- 28日(木)13:30～ 人権としての医療介護東京実行委員会事務局会議
- 5月01日(日)09:00～ 中央メーカー代々木公園前で独法化中止宣伝
- 03日(火)11:00～ 2022憲法大集会 有明防災公園
- 09日(月)15:00～ 都民生活要求大運動実行委員会&予算案学習
- 10日(火)13:30～ 介護をよくする東京の会对都懇談
- 11日(水)10:30～ 中央社保協第10回介護障害者部会
13:30～ 中央社保協第10回運営委員会
- 13日(金)14:30～ 都民連第5回世話人会議・学習会

2、中央社保協、加盟団体の取り組み

(1) 中央社保協

05月11日(水)13:30～ 中央社保協第10回運営委員会

資料:1～19

(2) 加盟団体・友誼団体の総会・学習会など

- 03月25日(金)18:30～ 葛飾社保協第27回総会 東京土建葛飾支部会館
- 03月28日(月)13:30～ 東京高齢期運動連絡会第30回定期総会 東部区民事務所
- 05月08日(日)13:30～ 西東京社保協 学習会・総会 (講師:寺尾氏)

(3) 事務局・幹事団体

1) 人権としての医療・介護東京実行委員会

資料:20～26

①事務局会議 3月24日(木)16:00～16:50

- ・3/2 国会署名統一提出行動2回目170名参加、いのち累計20万8,742筆、紹介議員97人
- ・3/4 第3回目3次署名提出 14,593筆提出
- ・3/7 第4回目3次署名最終提出 455筆提出 累計57,511筆
- ・3/7 都議会予算委員会 将来にわたり統廃合はないか?
- ・3/15 都議会包囲大行動370名超参加
- ・3/15 都議会厚生委員会 経営委員会は補助機関。
福保局内に都立病院支援部(仮)を設置する
- ・3/17 厚生委員会条例・請願採決 条例反対、請願採択は共、立、自の少数
- ・3/23 第4次請願署名 第1回目提出28筆 紹介議員:日本共産党都議団、他は今後
- ・3/25 都議会本会議 採決・閉会日

②各団体報告

- ・3/29看護師夜勤実態調査報告、記者会見。5/11看護の日集会

- ・ 宣伝に反応。一方、都立病院廃止・独法化は、まだまだ都民に知られていない。
- ・ ポケットティッシュを10万個つくり活用、残り5千となっている。

③協議内容

- ・ 3/25都議会閉会日に各会派への抗議と抗議声明の発出
- ・ 4～6月の取り組みに向けて、都議会議員と懇談・情報交換の機会をつくる。
独法化にむけ都議会での承認事項の有無、タイムスケジュールの確認等。公社や総務大臣への要請を検討
- ・ 7月に向けて宣伝強化で対話署名を広げる
- ・ 呼びかけ人のホームページやFB等で「オンライン署名の呼びかけ」の依頼も検討。
病院支部のTwitterデモや都民の声総合窓口への投稿よびかけ。各守る会の宣伝日程の明確化と地域での連携宣伝
- ・ シンポジウムとか集会、記者会見の開催（都立病院利用患者、家族からも訴えてもらう）の検討
- ・ 第4次署名の紹介議員をさらに広げてゆく。期間は5月中旬。新たな宣伝物の作成
- ・ 東京医療関連労働組合協議会（医療関連協）の当会への参加を確認
- ・ 「公的医療はどこへいく」短編映画へのクラウドファンディングの呼びかけ

④当面の日程

- ・ 3/25（金）17:30～ 新宿駅西口宣伝（連絡会）
- ・ 3/26（土）14:00～ サタデーアピール宣伝 上野駅広小路口（医療関連協）

⑤次回会議

4月14日（木）14時～ 地評会議室

①事務局会議 4月28日（木）13:30～15:00

- ・ 4/11 日本共産党都議との懇談
- ・ 公立病院経営強化ガイドラインについて

②各団体報告

- ・ 第4次署名の到達は 累計101筆
- ・ 7月独法化中止宣伝スポット、テープ作成。メーカー等集会会場で署名を集める

③協議内容

- ・ 病院経営本部へ質問書を出して、懇談を定例会前に行う
- ・ 紹介議員広げの要請を行う

④当面の日程

- ・ 5/18 第4次署名最終集約、5/20午後に最終提出する
- ・ 5/27（金）11:45～ 都議会包囲大行動＜請願審議日＞
- ・ 6/1（水）10:30～ 新宿駅南口宣伝＜都議会開会日＞

⑤次回会議

5月19日（木）15時30分～ 地評会議室

2) 介護をよくする東京の会

①事務局会議 4月13日(水)10:00~11:15

- ・ 社保審介護部会では、全世代型検討会議まとめや昨年6/18閣議決定に基づいた論議がされており、生活支援介護はずしや利用者負担2割化、ケアプラン有料化など9期に向けての改悪が懸念される。
- ・ 介護人材不足で、紹介料が高騰しており、看護師と同様な状況になっている。
- ・ 訪問介護にも僅かだがようやく公費としてコロナ手当が出された。運動の成果。

②協議事項

- ・ 緊急団体署名「介護従事者の賃金を全額公費負担により全産業平均給与水準まで引き上げ」を会として提出。各団体でも呼びかける。
- ・ 対都要望提出は都議を通じて4月に懇談日を設定中。

③当面日程

- ・ 4月17日(日)13~16時頃 介護7団体主催「介護保険を崩壊させない!集会」
- ・ 5月介護アクション月間
- ・ 5月14日(土)12~13時 巣鴨駅前 介護アクション月間
- ・ 5月26日(木)12時~15時半 衆議院第一議員会館大会議室、ZOOM併用 300名
- ・ 6月 2022年度版介護改善署名の確定(全労連・民医連・社保協で協議)
- ・ 10月介護アクション月間
- ・ 10月30日(日)11~16時 全労連会館2階とオンライン 全国介護学習交流集会
- ・ 11月11日(金)10~18時 介護・認知症なんでも電話相談 ラパスホール

④次回事務局会議

5月11日(水)10:00~ 5階東京地評会議室

①対都要請行動(事務局会議を変更) 5月10日(火)13:30~14:40

28項目を要望として提出し、そのうち下記重点項目について懇談した

- 1, 介護施設における一人夜勤解消にむけて
- 2, 新型コロナ対応として、介護事業所への財政支援など
 - (1) 事業所への減収補填
 - (2) すべての事業所での定期的なPCR検査の実施
- 3, 介護職員確保について
 - (1) 処遇改善
 - (2) 法の実行化
 - (3) 周辺制度の充実
 - (4) 介護福祉専門学校への支援
 - (5) 介護職の地位向上
- 4, 利用者などからのハラスメント対策について
 - (1) 実態に基づく対策内容改善
 - (2) 複数者での訪問

②次回事務局会議 6月8日(水)10:00~ 5階東京地評会議室

3) 生存権裁判を支える東京連絡会

資料: 27

①幹事会 4月27日(水)13時30分~15時 5階東京地評会議室

- ・ 「加盟団体」名簿の確認。総会を機に更新する

- ・はっさく裁判判決が6/24、15時から東京地裁103号法廷で行われる
 - ・6/25(土)13～17時 いのちのとりで裁判全国アクション 総会・原告交流集会
 - ・級地区分の変更やケアマネをワーカー代わりにしようという、さらなる生保制度後退が狙われている。
 - ・足立区で2020年生保廃止事例の検証と再発防止案に対する意見交換会が開催された。6月までに意見を踏まえて案が作成される。
- ②協議・確認事項
- ・デフレ調整について掲載されている「賃金と社会保障」誌1799号を3冊購入する
 - ・第13回総会・学習会を5月29日(日)13時半～16時 けんせつプラザ東京
講師：田川氏(全国アクション) Webなし。会場のみで参加を広く呼びかける。
 - ・当日日程、役割分担、議案、次期役員選出などについて論議し、5/20までに持回りで確定させる。
 - ・署名は、各団体へ版を送付するので、それぞれ刷り増しして取り組む。提出は毎口頭弁論日に行う。
 - ・次回弁論は、7/19(火)11時～、10時地裁前集合で宣伝を行う。13時半～ 衆議院第2議員会館多目的室で報告会。内容は次回。署名提出を行う予定
- ③次回幹事会 6月30日(水)13時半～ 5階東京地評会議室

4) 消費税廃止東京各界連絡会

- ①事務局会議 3月28日(月)13:45～14:30
大塚駅頭宣伝行動は、事情により中止。
- ②この間の取り組み、各分野からの報告
- ・奥多摩町で、インボイス中止の請願主旨採択
 - ・3.13重税反対全国統一行動の取り組みでは、集会が15カ所で開催され、延93団体、1,622人が参加
- ③確認討議事項
- ・4/1怒りの大宣伝行動 新宿駅西口で12時00分～
 - ・インボイス国会内アクションに呼応した取り組み
4月22日(金)午後1時00分～3時00分、衆議院第2議員会館多目的会議室、オンライン(ZOOMウェビナー)で参加できる。集会後、議員要請行動も実施される。
- ④次回の宣伝・署名行動、事務局団体会議
- ・定例宣伝 大塚駅 南口 4月25日(月)12:00～12:45
 - ・事務局団体会議 13:45～15:00
- ①事務局会議 4月25日(月)13:45～14:45
12:00～12:45 大塚駅頭宣 6団体14人参加、署名6筆、宣伝物100部
各団体の宣伝参加位置づけが弱いのではないか?
- ②この間の取り組み、各分野からの報告

- ・4/1怒りの総行動 9団体35人参加、署名61筆、シールアンケート16人
- ・4/22インボイス国会内アクション

③確認討議事項

- ・消費税を参院選挙争点化するために、6月上旬に学習会を開催。消費税減税の展望をもつ。署名提出行動を全国各界連の動向にあわせて行う。議員要請を呼びかける。
- ・ホームページの運用について、今後どうするかを含めて検討する。

- ④次回事務局会議 5月23日(月)13:45~15:00 4階自治労連会議室
大塚駅南口宣伝:12:00~12:45

5) 東京高齢期運動連絡会

資料:28~33

- ①幹事会 4月26日(火)14~16時半 東部区民事務所

- ・高齢者人権宣言第2次案学習討論を行った
- ・3/28第30回総会 31名参加(会場29、Web2)
- ・窓口負担2倍化中止
 - ・東京保健生協で2倍化中止を求めるアンケートを実施した
 - ・国会議員への団体署名を行う。各団体で署名集約を行う。
…現時点で署名は全国で64万筆超になった。東京としての集約は不明。国会議員への働きかけもよっている。地域出身の議員ということで杉並でも選挙区選出の議員に行った。5/16には記者会見でアンケート結果を発表。6/8国会行動の予定。
- ・学習決起集会は地域ごとの実施をめざす
- ・東都生協で12万枚の署名用紙を送付し、回収してもらう
- ・日本高齢者大会 11/23~24 京都 参加目標350名、宿泊参加で約5.5万円
…参加募集は7月下旬から。
- ・東京のつどい 5/14に第1回実行委員会を開催
…日本高連では来年、第36回日本高齢者大会を東京で行うことを決定した。
- ・自治体要求全都共同行動は、東京高連としてひな型をつくり、各自治体要請する。要請のための相談会、交流会を開催する
- ・高齢者人権宣言は、5/14日本高連総会で第3次案が出され、大会まで討議する。扱いについては、大会で提案する。学習するプロセスを重視している。
- ・5/14(土)9時半~12時半 日本高齢期運動連絡会総会 ZOOM
議案についての論議を行った。

- ②次回常任幹事会 6月9日(木)14時~ 東部区民事務所

6) 都民連

- ①第4回世話人会議 4月18日(月)13:30~15:00 5階地評会議室

- ・定例都議会報告
- ・5/9都民生活要求大運動実行委員会を開催する
- ・3/24「東京オリンピック・パラリンピックから見たこと 評価と課題を考える 総括

集会」を開催。63名参加。

②協議事項

- ・6/1(水)12:15～12:45 都議会開会日行動。 6/15閉会。
- ・支援要請：4/22天海訴訟 口頭弁論。4/25福島訴訟 最高裁弁論。
- ・5/15(日)14～17時 脱原発・原発事故訴訟 学習交流集会 全労連ホール 定員100名
講演「奪い取られたふるさと・福島」森住卓氏。特別報告 福島原発被害弁護団
…39名参加
- ・5/13(金)15:30～16:30 学習会
講演「維新政治の本質とその支持層の分析」富田宏治（関西学院大教授）
- ・総会は8月下旬を予定

③次回会議 5月13日(金)14:30～15:20 5階地評会議室

①第4回世話人会議 5月13日(金)14:30～16:30 5階地評会議室

- ・5/9都民生活要求大運動実行委員会を開催し、予算学習会などの主な日程を確認した

②協議事項

- ・6/1(水)12:15～12:45 都議会開会日行動。 6/15閉会。
- ・5/15(日)14～17時 脱原発・原発事故訴訟 学習交流集会 全労連ホール 定員100名
講演「奪い取られたふるさと・福島」森住卓氏。特別報告 福島原発被害弁護団
- ・総会は8/26or29の午後を予定。ラパスホール。記念講演のテーマを提案して欲しい
次回会議で議案素案を提示するので、意見を寄せてもらい成文を8/19配信する

③学習会 講演「維新政治の本質とその支持層の分析」富田宏治（関西学院大教授）

④次回会議 6月13日(月)13:30～ 5階地評会議室

(4) 共闘団体など

資料：34～41

東京保険医協会

- ・マイナンバーカードの取得強要（江戸川区通知）

昨年健康保険法等の一部改正で、生活保護の被保護者には「原則としてオンライン資格確認」という条項が入れられ、自治体に圧力がかかっている。

…全体としての対応状況をつかみ、それへの対応をどうするか検討が必要。

都立病院の充実を求める連絡会

- ・連絡会ニュース

…独法化されてしまった以降、都民の医療を守るという約束を果たさせていくことが必要。

外科医師を守る会

- ・4月15日 最高裁判決報告会と高裁に向けた決起集会 会場とWebで100名参加
最高裁判決の意味と差し戻し審での無罪を勝ち取る行動提起がされました。

3、会計報告

綴末資料

総会で承認されたことにより4月より仮予算から今年度予算としています。

3、4月の会費納入は過年度分も含めて、10団体からあり会費納入率は加盟数で68.9%、金額で71.1%となりました。その他収入の執行率が759.9%になっているのは、昨年11月実施の無料電話相談の電話代立替分が3月に中央社保協から71,935円入金されたなど、立替金の収入をこの項目に計上していることによるものです。今後、計上方法の検討が必要かと思えます。収入累計は702万3,992円、執行率71.8%となっています。

支出累計は287万5,989円で執行率29.4%となっています。通信費の執行率が101.2%となっているのは、上記立替分が計上されていることによります。4月から東京土建への人件費支出を再開しました。4月の宣伝学習費の支出は75歳以上医療費2倍化中止署名ビラの作成費用です。その他、通常月次と特に異なる支出はありません。

2、協議事項

0、第52回東京社保協総会の総括

資料：42～48

日程：4月16日（土）、10～15時半予定

会場：けんせつプラザ東京をメイン会場としてWeb併用

内容：学習講演「(仮)岸田政権下での社会保障をめぐる情勢と今後の運動力点」

井口克郎 神戸大学大学院准教授（オンライン参加、90分）

総会 総括と方針、決算予算、次期体制

指定発言 各団体・地域社保協の活動経験報告

- ・参加86名（会場51名、Web29アクセス35名）。
- ・終了時間が予定より約1時間程度延びた
- ・・・報告10分超、指定発言12名

次回に活かすために・・・

- ・未選出の役員のところはどうなっているか？・・・現時点では総会時のままである
- ・1時間程時間オーバーした。発言時間が守られなかった。かつては、弁当を出して昼時間に訴えや報告をしてもらっていた。

1、情勢から

資料：49～73

(1) フリーランス保険加入、視野 中間まとめ案了承 全世代型社保会議

岸田政権が社会保障のあり方を見直すために設けた「全世代型社会保障構築会議」が26日開かれ、中間まとめ案をおおむね了承した。厚生年金や健康保険への加入対象を広げる「勤労者皆保険」や育児休業の取得促進策などを柱とする内容で、政府が6月に策定する「骨太の方針」に盛り込む方針だ。

勤労者皆保険は、働く時間や雇用形態などを問わず、厚生年金などの適用対象を拡大す

る考え方だ。働き方が多様化し、非正規労働者だけでなく、フリーランスや単発の仕事を請け負う「ギグワーカー」など従来の社会保険からは漏れてしまう人たちも取り込むことを視野に入れる。社会保険の適用は、パート労働者を含めて順次広げてきた。10月以降は、対象となる事業所の規模を今の「500人超」から「100人超」とする。24年10月には「50人超」の中小企業まで拡大する。仮に雇い主がいない働き手にまで適用していくことになれば、従来の枠組みを変える必要がある。(4月27日付朝日新聞より)

(2) 厚労相「好ましいものではない」 地方単独の子どもの国保料減免

後藤茂之厚労相は22日の衆院厚労委員会で、自治体が単独事業で子育て世帯への国保料・税を減免することについて「特定の対象者にあらかじめ画一的な基準を設けて減免をすることは、制度の建付け上は好ましいものだとは考えていない」と述べた。

宮本徹委員(共産)への答弁。さらに宮本委員は、4月から国が一律で実施する子どもの均等割の減額措置との違いを質した。後藤厚労相は「個別にそれぞれの市町村がやることと、一律に公費を投入し国全体で国が施策としてすることは、保険原理上は違うということだ」と発言。「同じ医療費水準や所得水準の被保険者であれば、全国同じ基準で受益に応じた公平な保険料を設定することが必要なので、国保料の基準は従うべき基準を定めており、国の基準を超えて独自に一律の保険料軽減を条例で定めることはできない仕組みとしている」と説明した。(4/25付国保情報)

(3) 滋賀 高齢者向けコロナ療養施設

滋賀県は25日の新型コロナウイルスの対策本部員会議で、介護職を配置した高齢者向けの宿泊療養施設を大津市内に開設することを決めた。県によると、全国的にも珍しい取り組み。5月2日から運用する。

受け入れは最大15人で、軽症の高齢者らを対象とする。これまで軽症でも介護が必要な場合は入院するケースが多く、入院により身体機能が低下することが問題となっていた。療養施設では、寝たきりとならないよう個室を使わず大部屋をパーティションで仕切り、常に見守ることができるようにする。3人の患者に対し1人の介護職を充てる方針。医師と看護師もおり、必要に応じて中和抗体薬や経口治療薬を投与する。

(4/27付メディアファックス)

(4) 5年以内に平均気温1.5度上昇「五分五分」 WMOが予測、温室効果ガス増で

世界気象機関(WMO)は10日、英気象庁の調査に基づき、2026年までの5年間に世界の平均気温は産業革命前と比べ、1.1~1.7度上昇するとの予測を公表した。5年間のうち少なくとも1年は、世界目標の1.5度を超える可能性が五分五分だとの厳しい見方を示している。

15年に採択された温暖化の国際ルール「パリ協定」では、温暖化による危険な影響を減らすために、今世紀末時点での気温上昇を2度よりかなり低く、できれば1.5度に抑える目標を掲げる。WMOによると、気温上昇が1.5度を一時的に超える可能性はゼロに近かったが温室効果ガスの排出増が続いたことから上昇。17~21年の10%から、今回22~26年では50%近くになった。

世界平均気温はすでに1.1度上昇している。WMOのターラス事務局長は「パリ協定の目標に向けかなり厳しい状況になっている」と指摘した。

WMOによると、過去5年間よりも22～26年の世界平均気温が上回る可能性は93%。またそのうち少なくとも1年が過去最高だった16年の平均気温を超える可能性も93%あるという。海面上昇や氷河が溶けるなどの悪影響も続くと警告した。(5/10付朝日新聞)

2、当面の重点課題

(1) 中央社保協の取り組みへの結集

1) 新「いのち署名」推進の取り組み

資料：74～78

この間取り組んできた通常国会（6月15日会期末予定）向けての取り組みは、5月26日の第3回統一署名提出行動で大きな区切りとなります。最後までいのち署名とセットで各種署名に取り組みましょう。東京社保協としては、5月の連絡便で送付した受取人払い封筒を活用しながら、5月24日を署名の最終集約日としています。それまでに国会宛署名を事務局へお寄せ下さい。

なお、やむを得ずそれ以降届いた署名については、6月初旬に独自で国会に提出しますので、できるだけ早くお寄せください。

①全国統一署名・宣伝行動

- ・全国一斉宣伝行動 4月25日12時～13時半、新宿駅東口 15団体60名参加
- ・2回目Twitterデモを同日12時、17時で実施 集約？
- ・5月16日 記者会見

②統一署名提出行動（再掲）

- ・5月26日（木）12時～15時半 衆議院第一議員会館大会議室とWeb 500人以上目標
*感染対策を取りながらできるだけ会場参加を、判断は任せます。
- ・社会保障拡充運動の総決起の場（参院選も見据えて）として位置づける
- ・4月4日現在、紹介議員数は101名。
- ・日程は、中央社保協第10回運営委員会報告（＝中運報）参照。これまで独自の地元要請をしていないので、可能であれば東京選出の国会議員へ要請を行う予定。

2) 地域医療を守る運動の推進で、地域の要求実現への運動推進

総務省が「公立病院経営強化ガイドライン」を策定。コロナ禍を受けて従来の改革ガイドラインでの文言を「赤字解消」から「経営強化」に、「病院統廃合」から「病院間の役割分担・連携」に変更するなど軌道修正しました。しかし、都の独法化方針の様な「経営形態の見直し」はそのまま、病床の機能変更や病床減に消費税財源の補助金を出す「病床削減給付金」の仕組みもそのままです（中運報参照）。

8次医療計画にむけての国の動向を踏まえつつ、東京都保健医療計画（～2023年）8次改定へどう声を反映させてゆくかの取り組みを検討する必要があります。

3) 75歳以上窓口負担2倍化法を実施させない等のたたかい

資料：79～87

前回常幹承認に基づき、東都生協を取り扱い団体とした署名ビラを12万枚作成し、会員向けに配布・集約が5月一杯まで行われる予定です。東京高連との連名署名も2万枚作成しました。

参院選の争点にも押し上げ、10月実施の中止世論を広げて、中止法案提出にも結びつけてゆくために、引き続き様々な取り組みを続けていきます。

①「岸田さんこの声聞いてよ」アンケート 高連で170例を集約中（5月中に1万目標）

②4月21日 国会署名提出行動

- ・保団連が軸となって4/21 宮本（共）、馬淵、斉藤（立民）議員、4/28 中島、吉田（立民）、5/12 長妻、山井、川田（立民）議員と懇談
- ・立民は、2倍化中止には賛同してくれるが、中止法案提出には距離がありそう。

③今後の取り組み

東京高齢期運動連絡会や地域の諸団体と相談・連携しながら下記の取り組みを行いましょう。

- ・学習会などの開催：各団体に「75歳以上の高齢者医療費窓口負担2割化の中止を求める」パンフを3部送付しました。これを基に学習会を開催しましょう。
- ・引き続き署名に取り組む。東京での目標は35万筆（高齢者の1割の1割）。
- ・都道府県議会、区市町村議会議員へ議会請願に取り組む。

4) 国保改善の取り組み

資料：88～89

今年度の都内全自治体の保険料率等については、地域社保協の協力や自治体への電話問合せで調べることができ、総会資料に添付しました。中央社保協も保険料や短期証・資格書の発行状況などを調査する国保アンケートを実施するとの事なので、これにあわせて東京でも例年行っている自治体アンケート（2021年度実績）を地域社保協の協力も得ながら実施します。東商連の協力もお願いしたいと思います。

地域社保協では、行政や議会に①保険料引き下げのための手立て、財源を要請する。法定外繰入の維持・増加、基金からの拠出など。②子どもの均等割減免などの市町村単独事業の拡充を要請する。③資格書・短期証の発効をゼロにする。滞納・取り立てを強化せず、「医療を受ける権利を優先する」姿勢を求める。などの項目で請願・陳情を行っています。そうした取り組みや来年度国保料（税）などの状況を地域社保協や各自自治体の諸団体を通じて収集していきます。

5) 「4の日」宣伝（Since2017年2月～）など

①東京社保協・中央社保協の共同での「4の日宣伝」

- ・4月14日、巣鴨駅前で実施。参加者17名。5月14日は雨予報のため中止としました。
- ・次回は6月14日（火）12～13時 に巣鴨駅頭 予定。

②国会前宣伝行動（修正再掲）

第208通常国会の会期は1月17日召集、会期末は6月15日の予定です。参議院の任期満了が7月25日のため、参議院選挙は6月25日～7月25日の日曜日が投票日となる予定で、7月10日が有力視されています。

国会前宣伝行動は、2月9日(水)を皮切りに隔週水曜日に予定されていますので、感染状況をみながら、東京の地域社保協や各団体は結集してください。

日：5/25、6/8、時間：12時15分～13時、場所：衆議院第2議員会館前

③各地域社保協での独自・共同宣伝（再掲）

9の日宣伝、25日宣伝や消費税宣伝に諸団体と合同しての実施も含めて、地域社保協として計画してください。

6) 改憲阻止、核兵器禁止にむけた取り組み

①学習会などの開催

- ・ 社会保障誌2022年初夏号「憲法特集」を100冊購入し、加盟団体に1冊ずつ送付します。また、その中の「Q&Aパンフ」の抜き刷り（50円）やそのPDFを活用して、対話や学習会を行いましょ。
- ・ 中央社保協では参院選前に「憲法特集」号を活用したオンライン学習会、その動画配信を検討しています。
- ・ 25条共同行動実行委員会オンライン学習会
6月18日（土）13時半～16時
学習講演：ウクライナに暮らす人達の現状（仮題）
NPO法人 AAR JAPAN「難民を助ける会」
意見・活動交流

②署名の推進

「憲法改悪」を許さない全国署名 の取り組みを推進します。

7) 第49回中央社保学校の開催（再掲）

9月17～18日（日）の日程で、千葉県で開催。前回と同様に現地会場へは千葉県内の参加者とし、県外参加者はオンライン参加となります。

***今月中にチラシ（データ）が作成・配信されます。**

参加費は 500円/日と資料代500円の予定です（1日参加で千円、2日参加で1,500円）。

日程案

9月17日 13時～16時半

- ・ 講演「ポストコロナ社会「脱新自由主義」めざして～経済の潮流と国民の暮らし～（仮）」 宮崎礼二(明海大学経済学部准教授)
- ・ コロナ禍で浮き彫りとなった矛盾 ～医療・介護現場からの告発～

9月18日 10時～15時半

- ・ 社会保障運動 入門講座 講師：調整中

- ・シンポジウム～子ども、若者、女性、高齢者・・・あらゆる世代の貧困、自治体の現場の実態と問題点、矛盾を明らかにし、国と自治体へいのちとくらし守る政策への転換を求めるこれからの社保協運動、地域社保協づくりを展望して～
コーディネーター 調整中、パネラー 調整中

8) 中央社保協2022年度全国総会（再掲）

8月3日（水）オンラインで開催

（2）都立・公社病院の地方独立行政法人化断固反対

都議会第1回定例会の最終日3月25日本会議で都立病院廃止議案は成立、私たちの請願は不採択となり、7月の独法化にむけて動き出しています。その前の3月23日に第4次請願署名28筆を提出しました。最終提出は5月20日となり、厚生委員会での請願審議・採決日は5月27日となります。4月11日には、白石都議（日本共産党・厚生委員会）と懇談を行いました。

4次署名の都議会提出は5/20で最終となりますが、世論を広げるために署名は宣伝とあわせて6月末まで運動として継続します。また請願審査前に都に対して、今後の医療政策についての考え方を質す要請を行います。

独法化実施となる7月以降の活動などについては、「人権としての医療介護東京実行委員会」（本日常幹終了後）で論議予定です。

1) 当面の日程

- ・5月27日（金）11時45分～ 都議会包囲大行動（請願厚生委員会審議日）
- ・6月1日（水）10時半～ 新宿駅南口宣伝行動（都議会定例会開会日）

2) 6月末まで第4次署名に取り組み、世論を広げてゆく

宣伝アナウンススポット、音源も作成しました。各地域でも病院を守る会や諸団体と連携した行動を計画・実施してください。独法化について、都議会だけでなく、公社や都、国に対しても中止を働きかけることを具体化したいと思います。

（3）相談活動ハンドブックの改訂版の作成（再掲）

各団体に分担して加筆・訂正をお願いしておりますが、今後どのようにするかを検討して後日提案します。

（4）社会保障入門テキストなど学習会の開催について

- ・今後発行の社保誌に「社会保障入門テキスト」補講が連載されます。

第1回（2022初夏号）「人々が平和に生きるための社会保障運動」

神戸大学 井口克郎教授

第2回（2022夏号）「日本と諸外国の社会保障制度の比較」（仮）

東北福祉大学 佐藤英仁准教授

第3回（2022秋号）「参院選後の日本の民主主義」（仮）

神戸大学 井口克郎教授

- ・各地域での社保学校開催をめざしてください。講師料・会場費などへの補助を年間1万円まで/団体をします。要綱を作成しています。

（5）第52期東京社保学校開催の検討

日程：10月中旬くらいの土日祭日で10～16時

会場：けんせつプラザ東京をメイン会場としてWeb併用

内容：学習講演を2本とテーマを立てた討論かシンポジウム

テーマや講師は何・誰が良いか 検討を願います。

3、要請事項、その他

- ・加齢性難聴について、三鷹で風穴が開いたので、広げていきたいということで、三多摩では各地域で学習会が開催されている。9月議会に向けて7～8月頃にかけて、各地域だけではなくて、東京社保協としても全体として学習会ができればよいのではないかと。東京社保協で実施するのはどうか？10月頃だと遅いが、各自治体議会の4定にむけてやるのもよいのではないかと。

この間の請願不採択理由は時期尚早、自己責任。認知予防の厚労省研究も出てきたり、今期の東京社保協のテーマのひとつでもある。都の包括補助の基準も問題で、制限をかけないと補助しないとの制限がある。そういったことも含めて実施できればよい。

（1）加盟団体・友誼団体の学習会、総会あいさつなど

05月21日（土）10：00～ 生協労連関東地方連合会 社会保障学習会 ZOOM

14：00～ 病体生理研究所退職者 都立病院問題学習会 医療共済社

05月28日（土）18：30～ 清瀬社保協 第26回総会

05月29日（日）13：30～ 生存権裁判を支える東京連絡会総会 けんせつプラザ東京

14：00～ 江戸川社保協 第26回総会

（2）当面の日程

5月19日（木）15：30～ 人権としての医療介護東京実行委員会事務局会議

23日（月）12：00～ 消費税廃止各界連絡会宣伝行動 大塚駅

20220519第2回常任幹事会

13：45～ 同 事務局会議

25日(水)11：00～ 年金署名国会提出行動 参議院会館

26日(木)12：00～ 国会請願署名共同提出行動 衆院第一議員会館&ZOOM

27日(金)11：45～ 都立・公社病院独法化中止 都議会包囲大行動

18：00～ 中央社保協第11回代表者会議

31日(金)11：45～ 都立・公社病院独法化中止 都議会包囲大行動

6月01日(水)10：30～ 都立・公社病院独法化中止 新宿南口宣伝

10：30～ 中央社保協第11回介護障害者部会

12：15～ 都議会開会日行動

13：30～ 中央社保協第11回運営委員会

08日(水)10：00～ 介護をよくする東京の会事務局会議

13日(月)13：30～ 都民連 都予算学習会2

14日(火)12：00～ 4の日宣伝行動 巣鴨駅

18日(土)13：30～ 憲法25条を守り活かそう オンライン学習会

23日(木)13：30～ 東京社保協第52回第2回常任幹事会

(3) 常任幹事会の日程 (定例日：毎月第4木曜日)

次回 6月23日(木) 13：30～ 5階東京地評会議室とオンライン